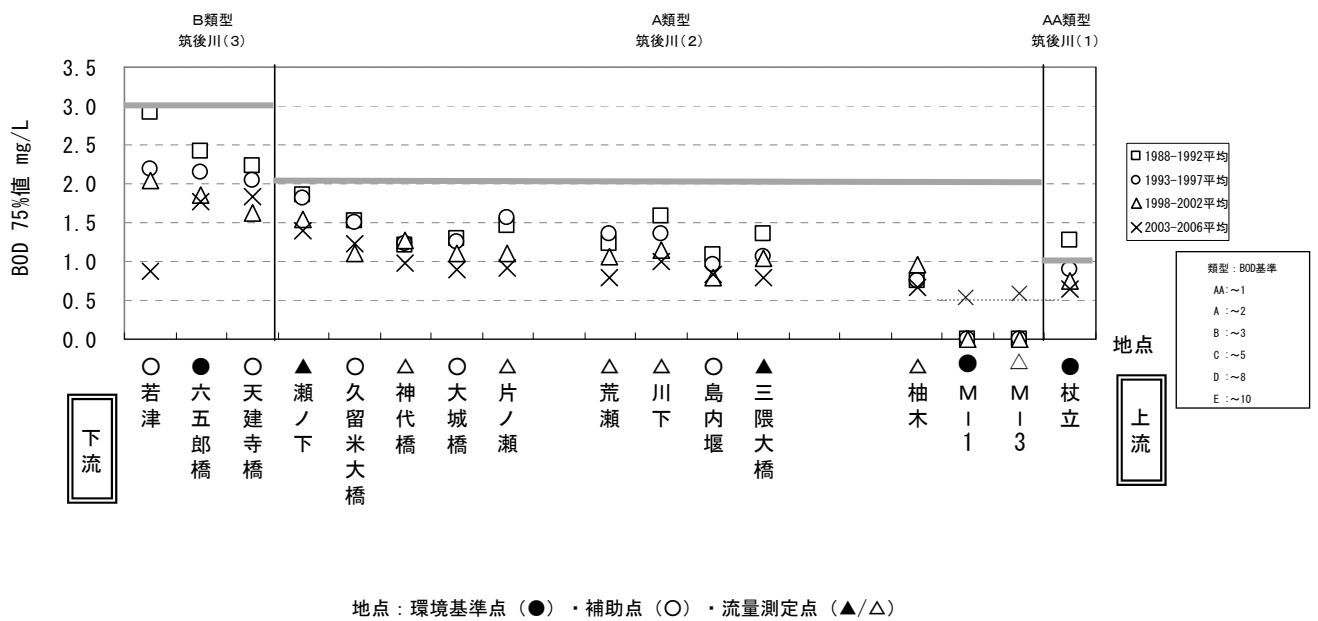


表 9.1(2) 近年の水質の状況（宝満川）

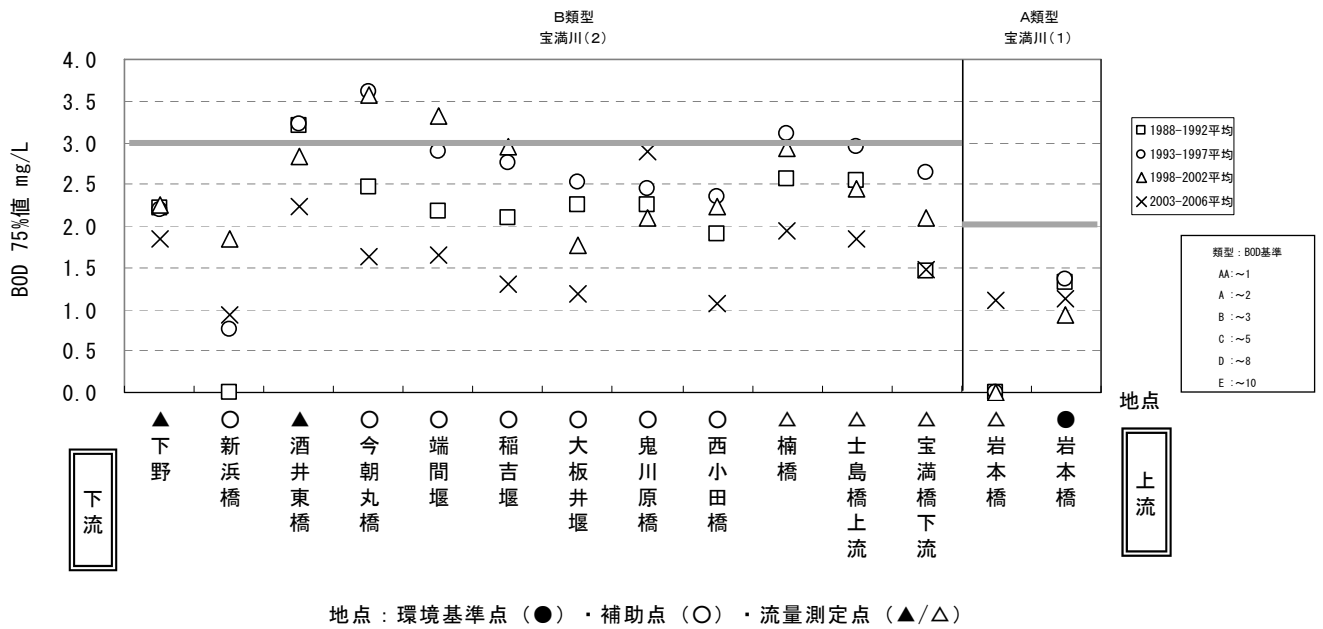
水域	類型	環境基準点	年度	BOD(mg/L)				pH			DO(mg/L)				SS(mg/L)				大腸菌群数(MPN/100mL)				
				最小値	最大値	平均値	75%値	基準	最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準
宝満川（1）	A	岩本橋	H16	< 0.5	1.4	0.9	1.1	2	7.0	8.3	6.5~8.5	8.5	12.0	9.8	7.5	< 1	36	8	25	13,000	13,000	13,000	1,000
			H17	< 0.5	2.1	0.9	0.8		6.3	8.1		7.9	13.0	11.0		< 1	4	2		11,000	11,000	11,000	
			H18	< 0.5	1.4	0.7	0.9		7.1	8.3		9.1	13.0	10.0		< 1	11	3		11,000	11,000	11,000	
宝満川（1）	A	岩本橋	H16	< 0.5	1.2	0.9	1.0	2	7.6	7.7	6.5~8.5	8.7	12.0	10.0	7.5	< 2	100	27	25	3,300	24,000	12,000	1,000
			H17	0.6	1.4	0.9	0.8		7.6	7.7		8.6	11.0	10.0		< 2	< 2	< 2		1,700	22,000	11,000	
			H18	< 0.5	1.8	0.9	0.7		7.5	8.5		9.5	14.0	11.0		< 2	4	3		790	14,000	5,100	
宝満川（2）	B	宝満橋下流	H16	< 0.5	1.5	1.1	1.3	3	7.3	7.6	6.5~8.5	7.2	12.0	10.0	5	< 2	7	5	25	490	17,000	8,400	5,000
			H17	0.6	1.7	1.2	1.6		7.5	7.7		4.9	11.0	9.0		< 2	5	4		1,700	130,000	35,000	
			H18	0.5	2.0	1.2	1.7		7.4	7.8		8.5	13.0	10.0		< 2	20	9		2,300	49,000	20,000	
宝満川（2）	B	士島橋上流	H16	1.0	3.3	1.9	1.7	3	7.5	8.5	6.5~8.5	9.2	13.0	11.0	5	< 2	7	5	25	230	13,000	5,900	5,000
			H17	1.4	4.0	2.5	2.6		7.5	9.3		9.4	16.0	11.0		2	6	5		79	490	230	
			H18	0.7	1.3	1.1	1.2		7.5	7.8		7.9	11.0	9.4		< 2	5	3		700	7,000	3,700	
宝満川（2）	B	楠橋	H16	0.5	3.1	1.9	2.2	3	7.6	8.0	6.5~8.5	9.8	13.0	11.0	5	< 2	7	5	25	460	4,900	2,900	5,000
			H17	1.2	3.5	2.1	2.1		8.1	8.6		11.0	15.0	13.0		< 2	6	3		170	4,900	1,800	
			H18	< 0.5	1.5	1.0	1.2		7.5	7.9		8.3	14.0	11.0		< 2	5	3		350	7,900	4,900	
宝満川（2）	B	西小田橋	H16	0.7	1.5	1.0	1.0	3	7.2	7.9	6.5~8.5	7.9	12.0	9.9	5	2	21	9	25	17,000	35,000	23,000	5,000
			H17	0.6	2.2	1.6	2.2		7.3	8.7		7.5	13.0	10.0		2	7	5		1,700	92,000	25,000	
			H18	—	—	—	—		—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	
宝満川（2）	B	鬼川原橋	H16	1.5	3.8	2.3	2.5	3	7.2	7.8	6.5~8.5	7.8	13.0	9.7	5	< 1	33	6	25	7,900	7,900	7,900	5,000
			H17	1.3	6.5	2.9	3.6		7.0	8.1		6.9	13.0	9.7		1	10	5		33,000	33,000	33,000	
			H18	1.1	4.4	2.3	2.6		7.0	7.7		7.2	10.0	9.1		< 2	54	10		330	330	330	
宝満川（2）	B	大板井堰	H16	0.7	1.5	1.0	1.2	3	7.2	7.6	6.5~8.5	7.2	10.0	9.0	5	2	13	7	25	7,900	54,000	23,000	5,000
			H17	1.0	3.0	2.1	2.3		7.3	7.6		7.0	10.0	8.7		5	7	6		330	54,000	15,000	
			H18	—	—	—	—		—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	
宝満川（2）	B	稲吉堰	H16	0.6	2.4	1.5	1.7	3	7.3	7.5	6.5~8.5	8.2	10.0	9.0	5	5	21	12	25	7,000	35,000	23,000	5,000
			H17	0.8	2.9	1.8	2.2		7.3	8.3		7.9	10.0	9.5		3	10	8		1,300	92,000	24,000	
			H18	—	—	—	—		—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	
宝満川（2）	B	端間堰	H16	0.7	2.2	1.4	1.7	3	7.4	7.6	6.5~8.5	8.1	10.0	9.2	5	4	16	10	25	4,900	35,000	16,000	5,000
			H17	0.8	5.0	2.5	3.2		7.5	9.1		8.8	14.0	11.0		5	14	11		490	17,000	5,400	
			H18	—	—	—	—		—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	
宝満川（2）	B	今朝丸橋	H16	0.8	2.1	1.4	1.8	3	7.1	7.5	6.5~8.5	8.0	10.0	9.1	5	6	19	13	25	7,900	54,000	33,000	5,000
			H17	0.7	5.9	2.6	2.6		7.4	8.3		8.3	14.0	10.0		5	16	9		1,300	24,000	7,900	
			H18	—	—	—	—		—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	
宝満川（2）	B	酒井東橋	H16	0.6	2.8	1.6	2.1	3	7.1	7.5	6.5~8.5	6.1	12.0	9.0	5	5	28	14	25	4,900	160,000	66,000	5,000
			H17	0.8	4.2	2.1	2.8		7.1	7.9		8.4	13.0	9.9		4	17	10		3,300	160,000	67,000	
			H18	0.7	3.5	1.5	1.7		7.3	8.4		8.3	11.0	9.8		4	14	9		3,300	92,000	38,000	
宝満川（2）	B	新浜橋	H16	< 0.5	3.4	1.4	1.7	3	7.3	7.8	6.5~8.5	8.1	12.0	9.5	5	4	16	10	25	14,000	54,000	34,000	5,000
			H17	—	—	—	—		—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	
			H18	—	—	—	—		—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	
宝満川（2）	B	下野	H16	< 0.5	5.6	1.9	1.9	3	7.1	8.3	6.5~8.5	7.4	11.0	9.2	5	6	32	16	25	3,300	92,000	45,000	5,000
			H17	1.0	4.9	2.2	2.6		7.2	8.9		7.5	14.0	10.0		3	22	10		13,000	35,000	24,000	
			H18	0.5	3.2	1.2	1.1		7.2	8.2		7.5	12.0	9.4		3	24	10		790	11,000	5,900	

出典：公共用水域の水質測定結果



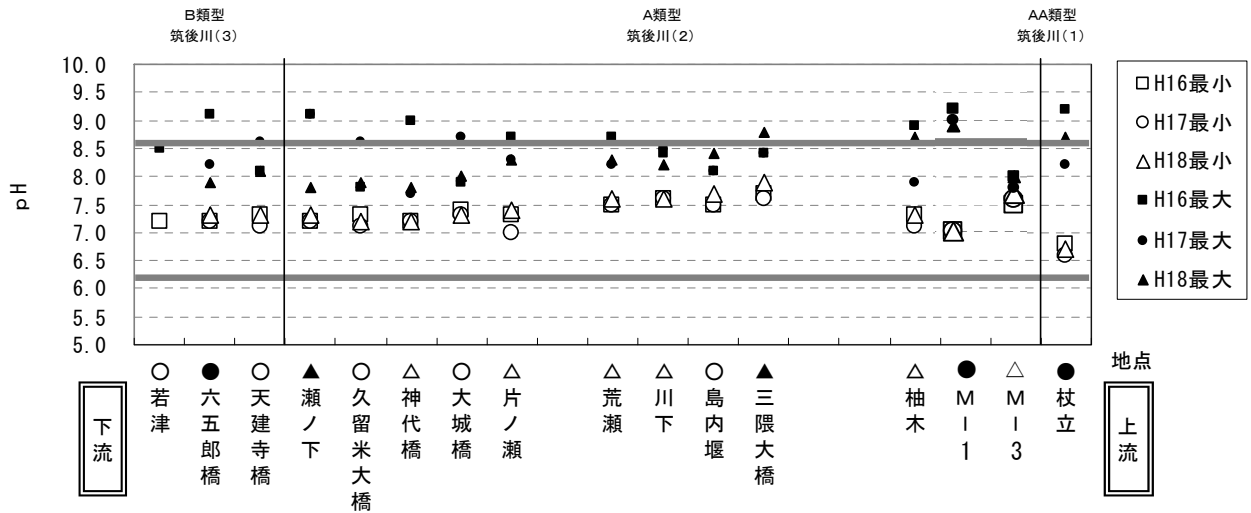
出典：公共用水域の水質測定結果

図 9.2(1) BOD75%値の縦断分布（筑後川）



出典：公共用水域の水質測定結果

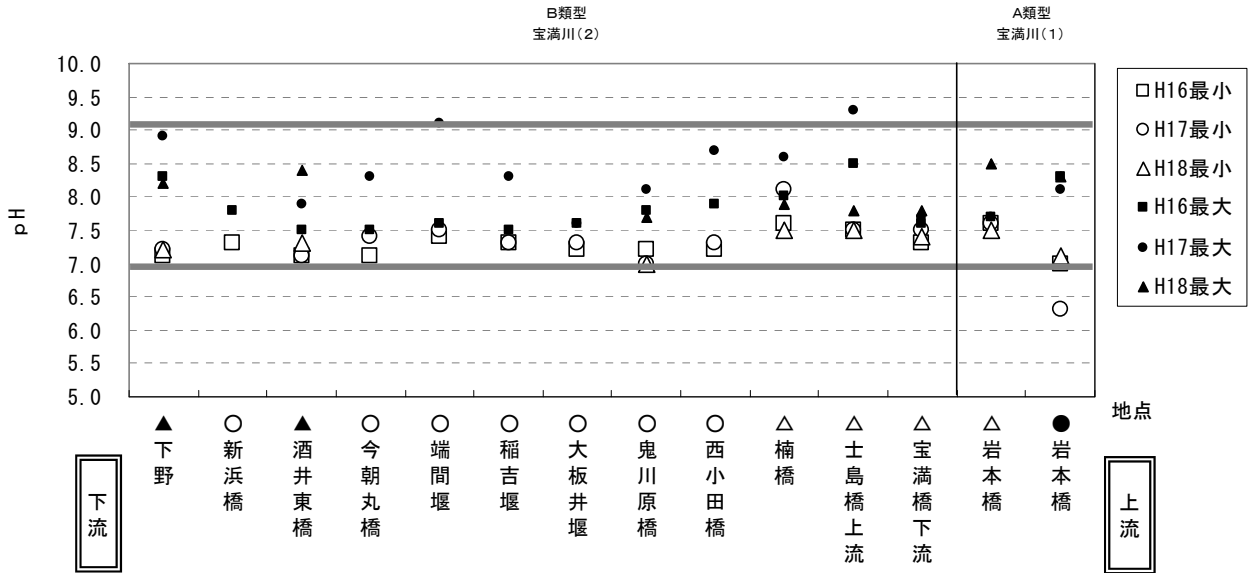
図 9.2(2) BOD75%値の縦断分布（宝満川）



地点：環境基準点 (●)・補助点 (○)・流量測定点 (▲/△)

出典：公共用水域の水質測定結果

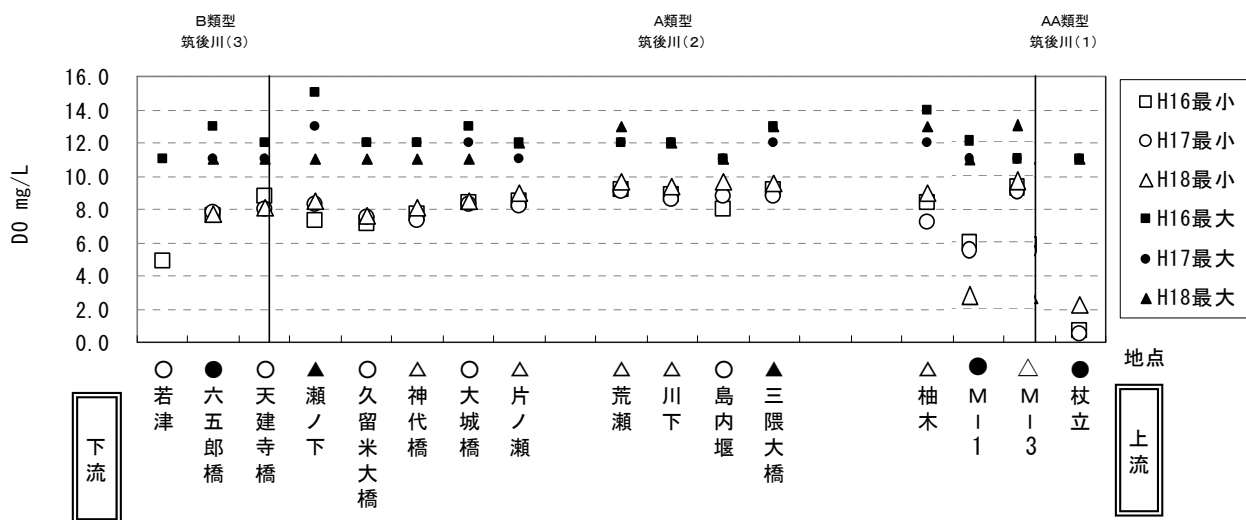
図 9.3(1) pHの縦断分布 (筑後川)



地点：環境基準点 (●)・補助点 (○)・流量測定点 (▲/△)

出典：公共用水域の水質測定結果

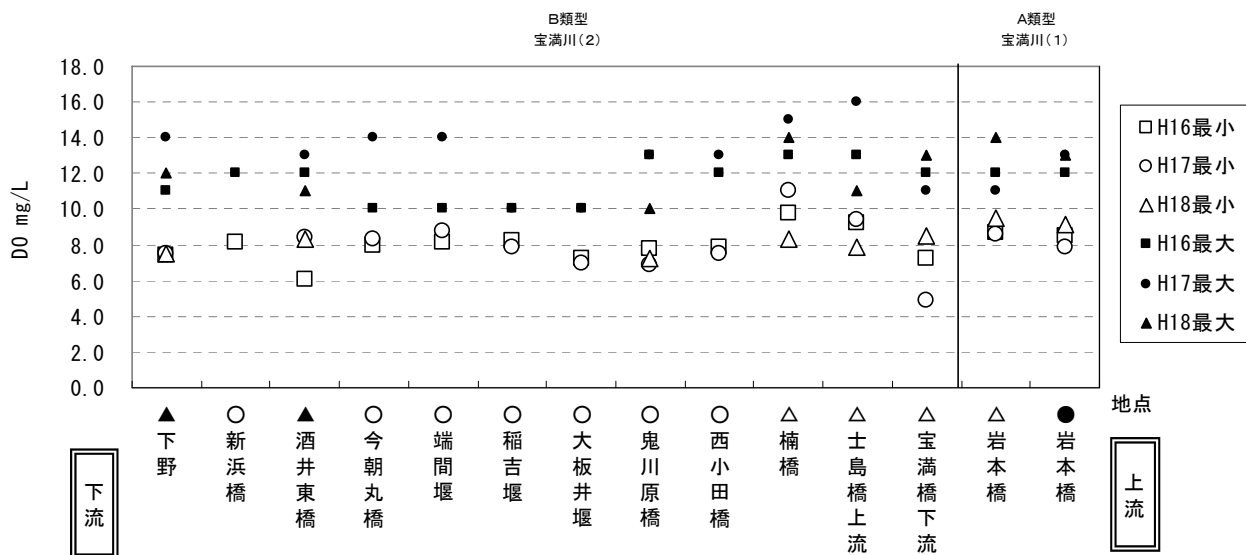
図 9.3(2) pHの縦断分布 (宝満川)



地点：環境基準点（●）・補助点（○）・流量測定点（▲/△）

出典：公共用水域の水質測定結果

図 9.4(1) DOの縦断分布（筑後川）



地点：環境基準点（●）・補助点（○）・流量測定点（▲/△）

出典：公共用水域の水質測定結果

図 9.4(2) DOの縦断分布（宝満川）

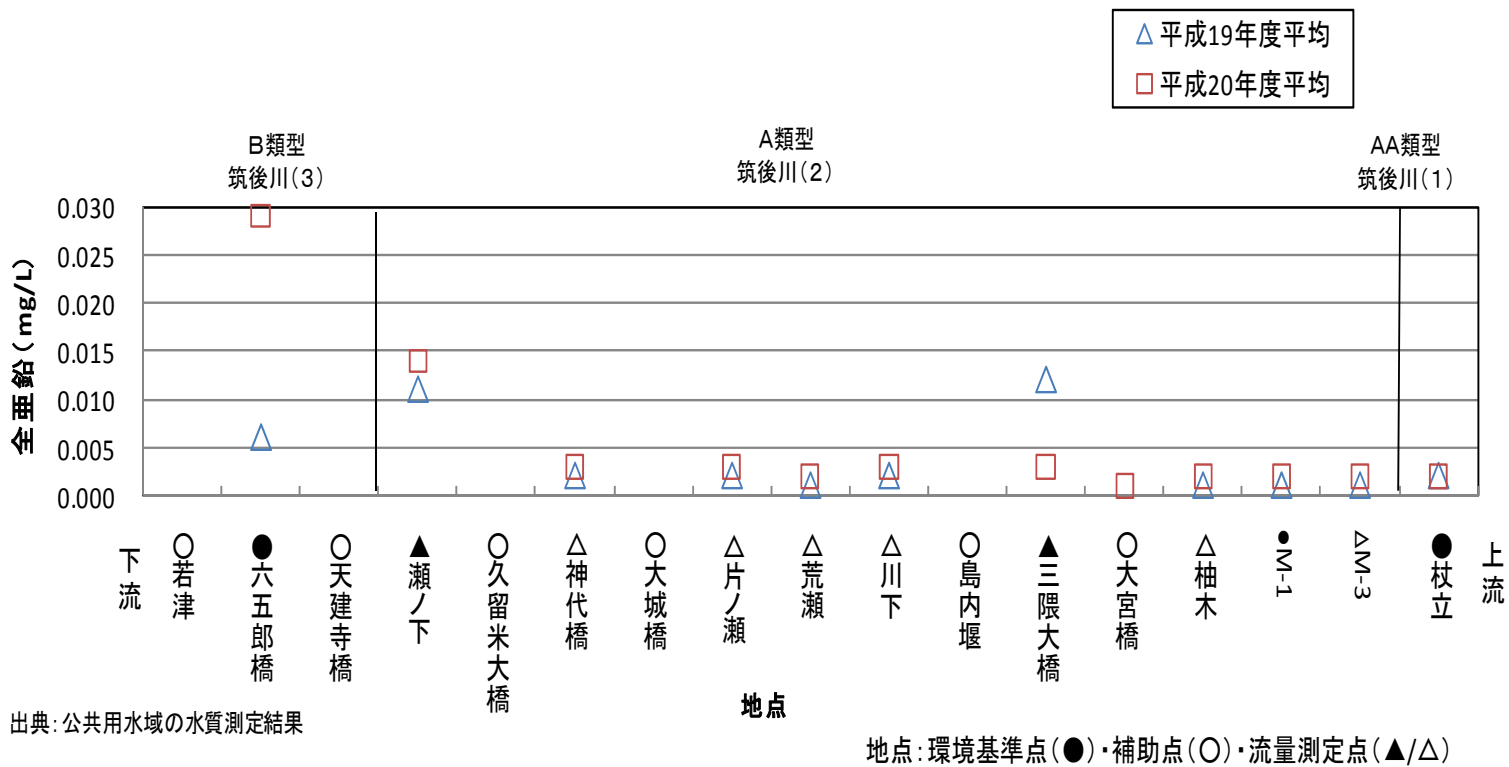


図 9.5(1) 全亜鉛の縦断分布 (筑後川)

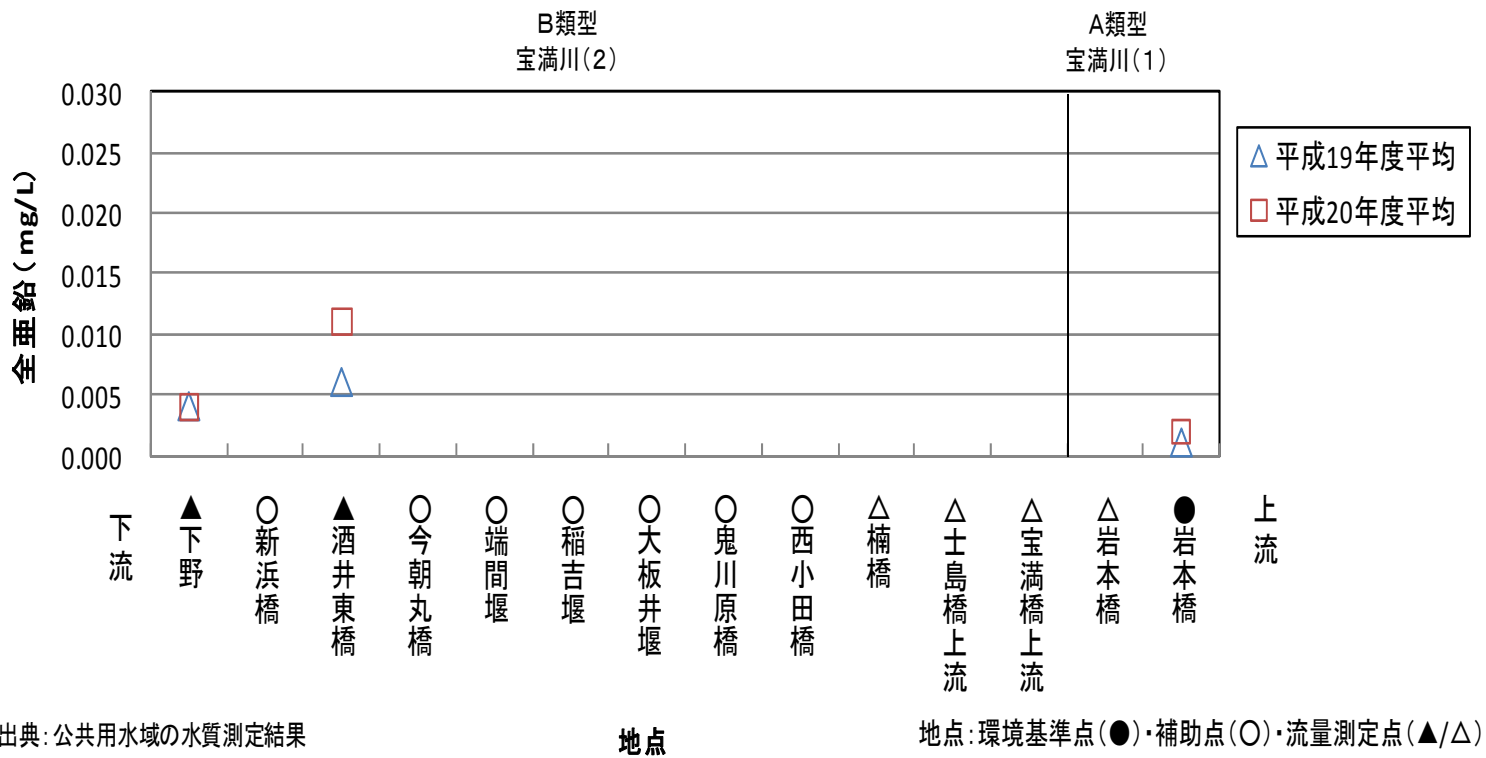


図 9.5(2) 全亜鉛の縦断分布 (宝満川)

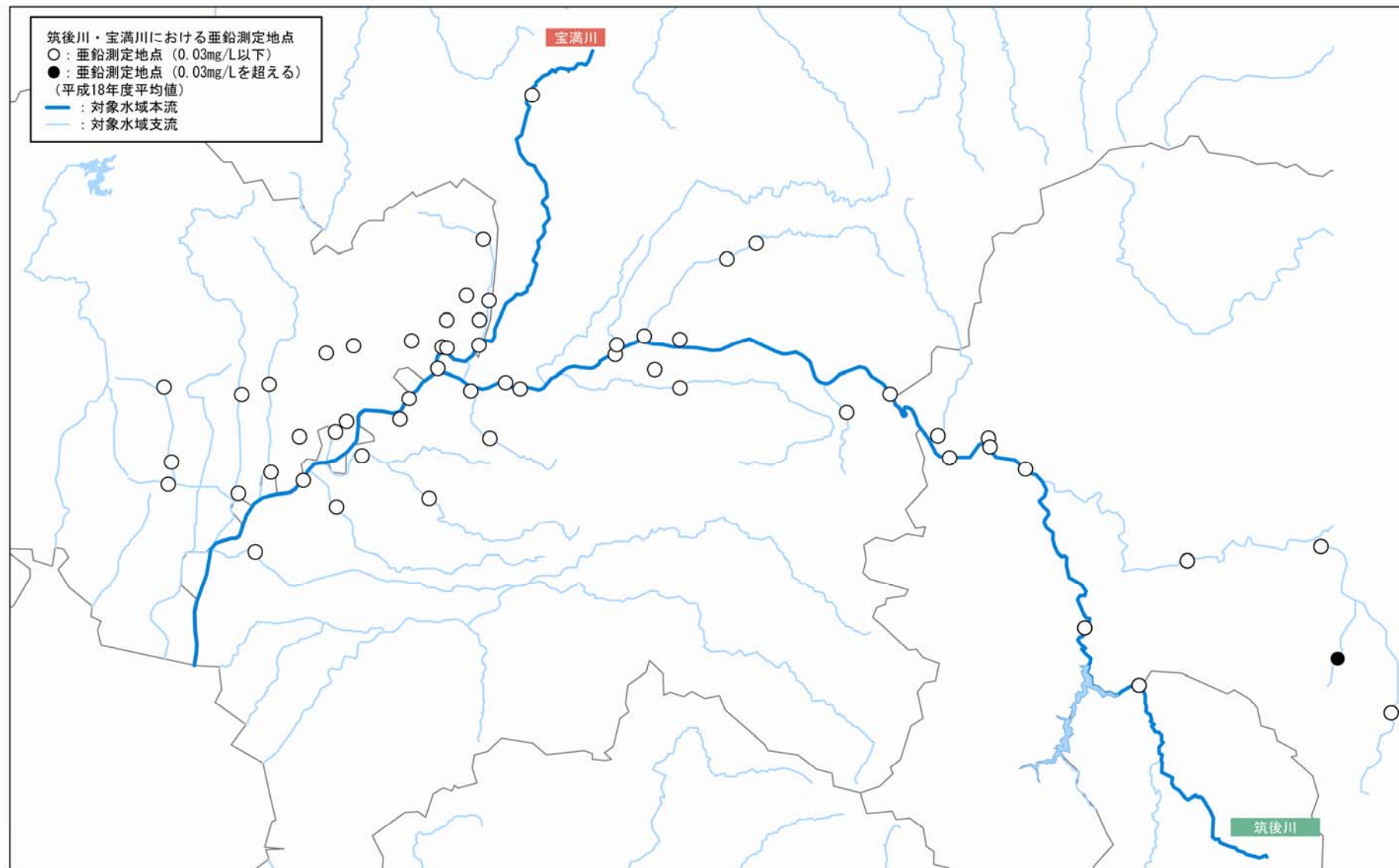


図 9.6 全亜鉛の測定地点 (筑後川・宝満川)

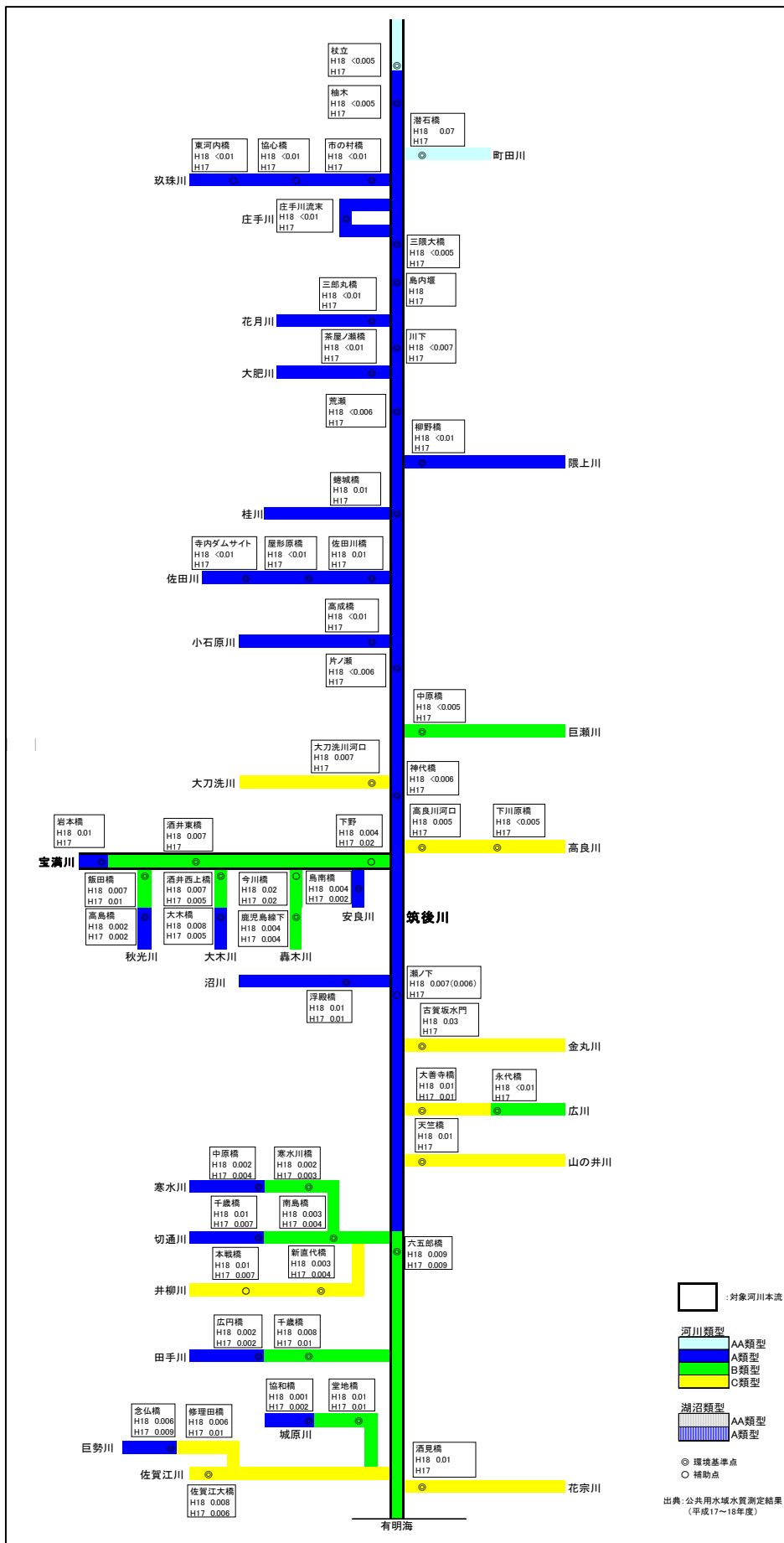
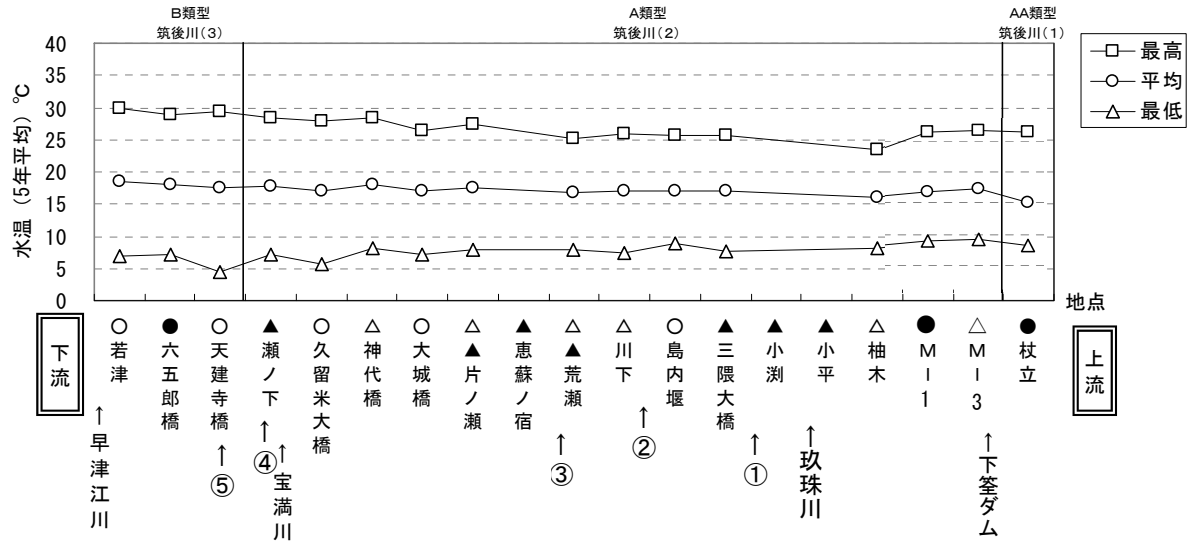


図 9.7 全亜鉛の検出状況(筑後川・宝満川)



※最高・平均・最低は、平成14～18年度の公共用水域水質測定結果より、各年度の月平均水温の年最高値・年平均値・年最低値を求め、それぞれ5年平均した値である。一部で月1回以上の頻度で計測していない地点がある。

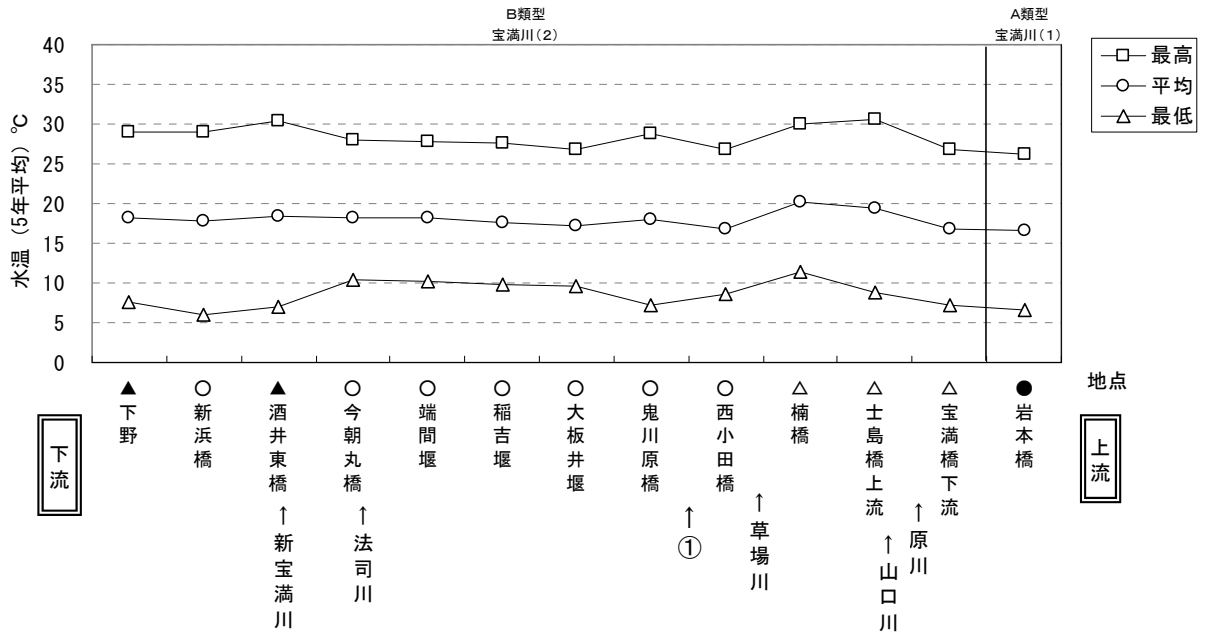
地点：環境基準点(●) ・補助点(○) ・流量測定点(▲/△)

出典：公共用水域の水質測定結果

No	都道府県名	河川	事業名	処理場名	放流水質(H16年平均)		放流量 (m ³ /s)	
					水温(°C)	BOD (mg/L)	H16年	計画
①	大分県	筑後川	特環	大山ダイヤモンドプレイス	21.8	2.4	0.01	0.01
②	大分県	筑後川	公共	日田浄化センター	23.2	2.2	0.40	0.47
③	福岡県	筑後川	特環	中央浄化センター(朝倉町)	20.5	0.8	0.03	0.03
④	福岡県	筑後川	公共	中央浄化センター	24.2	5.5	0.64	0.69
⑤	福岡県	筑後川	公共	南部浄化センター	0.0	3.5	0.40	0.70

出典：(社)日本下水道協会 平成16年度版 下水道統計(行政編)より

図 9.9(1) 水温縦断分布 (筑後川)



※最高・平均・最低は、平成14～18年度の公共用水域水質測定結果より、各年度の月平均水温の年最高値・年平均値・年最低値を求め、それぞれ5ヵ年平均した値である。一部で月1回以上の頻度で計測していない地点がある。

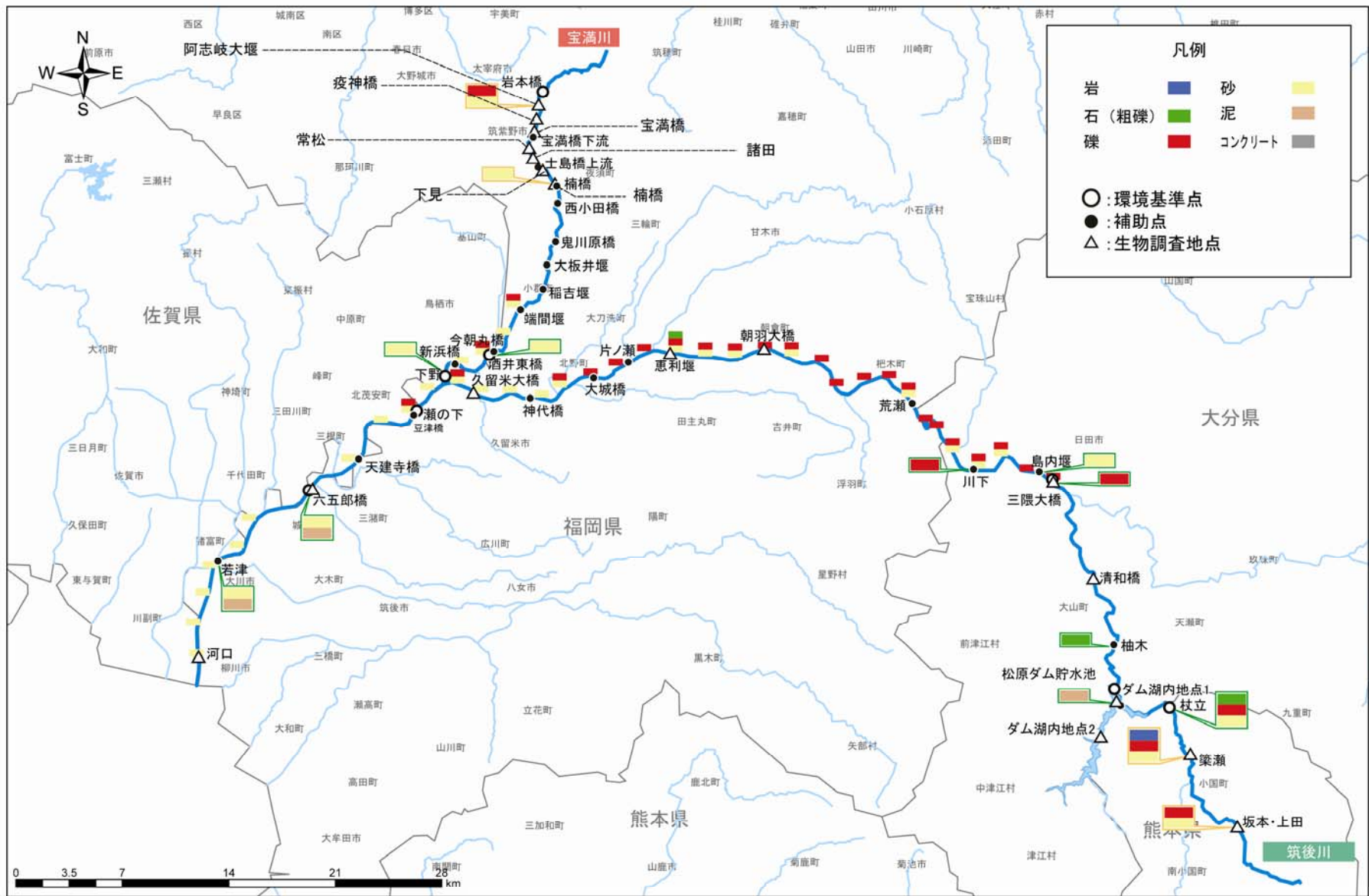
地点：環境基準点(●) ・補助点(○) ・流量測定点(▲/△)

出典：公共用水域の水質測定結果

No	都道府県名	河川	事業名	処理場名	放流水質(H16年平均)		放流量(m ³ /s)	
					水温(°C)	BOD(mg/L)	H16年	計画
①	福岡県	宝満川	流域	宝満川浄化センター	22.5	1.3	0.30	0.45

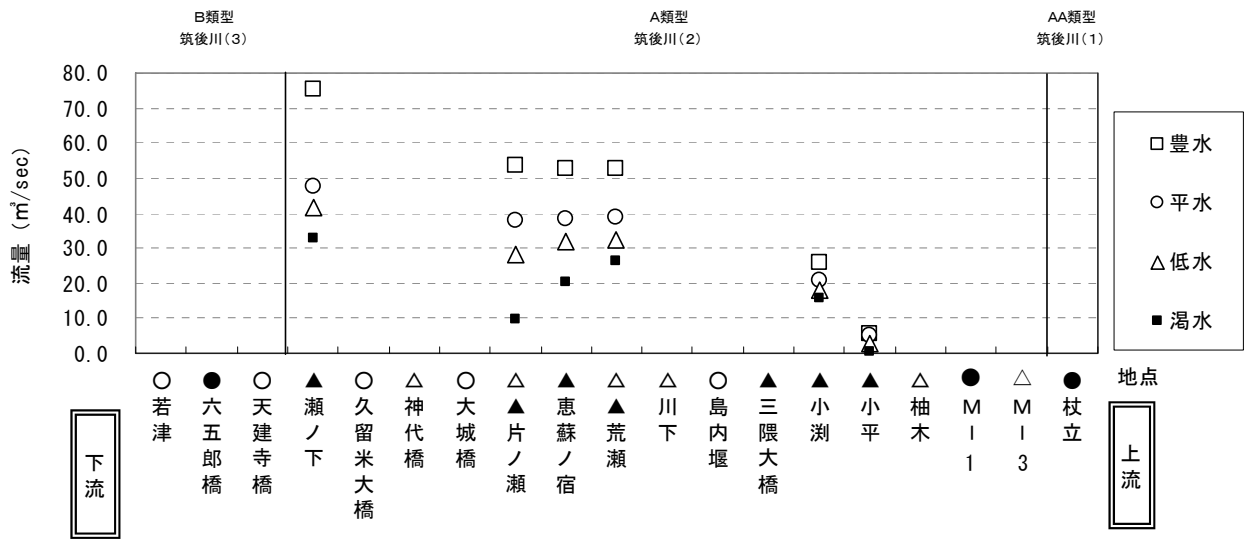
出典：(社)日本下水道協会 平成16年度版 下水道統計(行政編)より

図 9.9(2) 水温縦断分布 (宝満川)



国土交通省 平成6年度「筑後川河床材料調査業務報告書」より
 □: 環境省調査(平成14年度漁業協同組合へのアンケート結果)より
 ○: 環境省調査(平成17年度漁業協同組合へのアンケート結果)より

図 9.10 河床材料図(筑後川・宝満川)



地点：環境基準点 (●)・補助点 (○)・流量測定点 (▲/△)

出典：流量年表(国土交通省河川局編, H14)

図 9.11 流量の縦断分布(筑後川・宝満川)

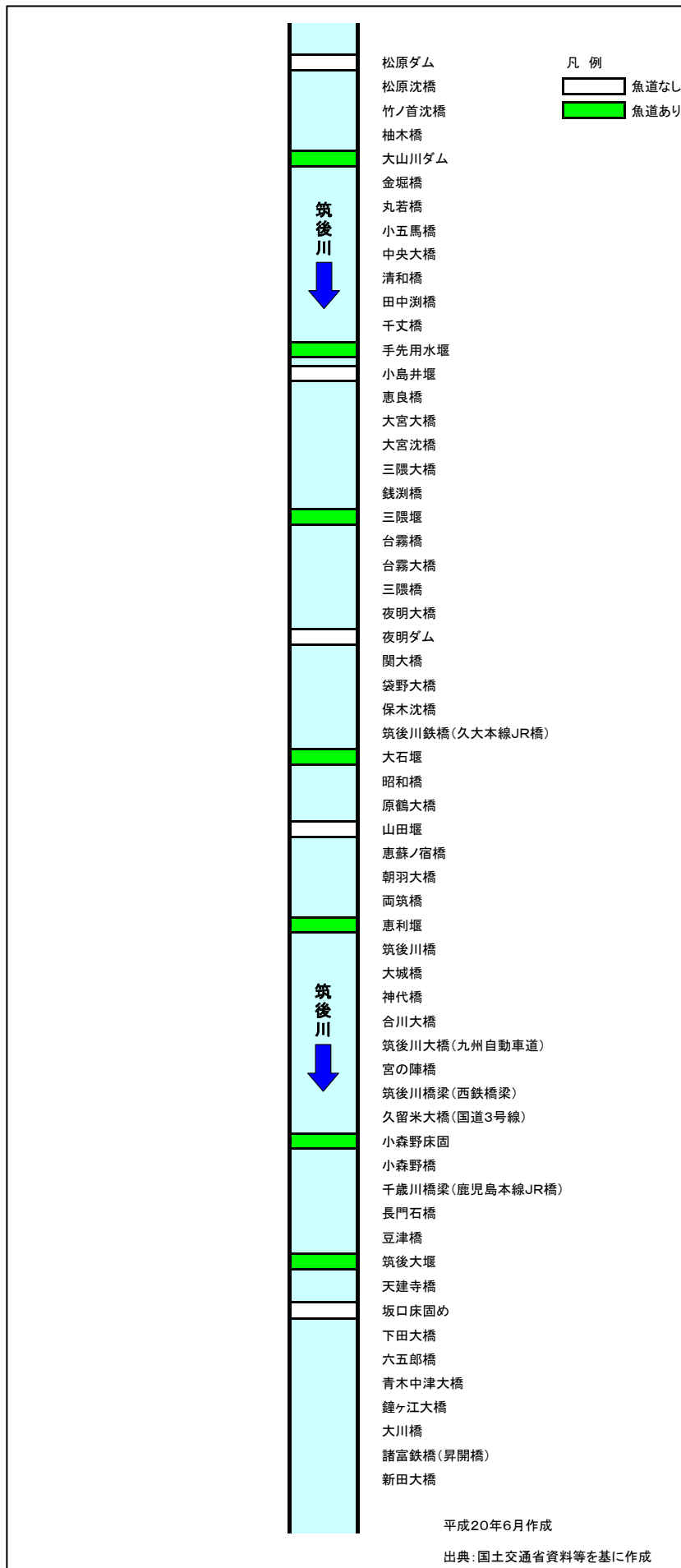


図 9.12 主な河川横断工作物（筑後川）

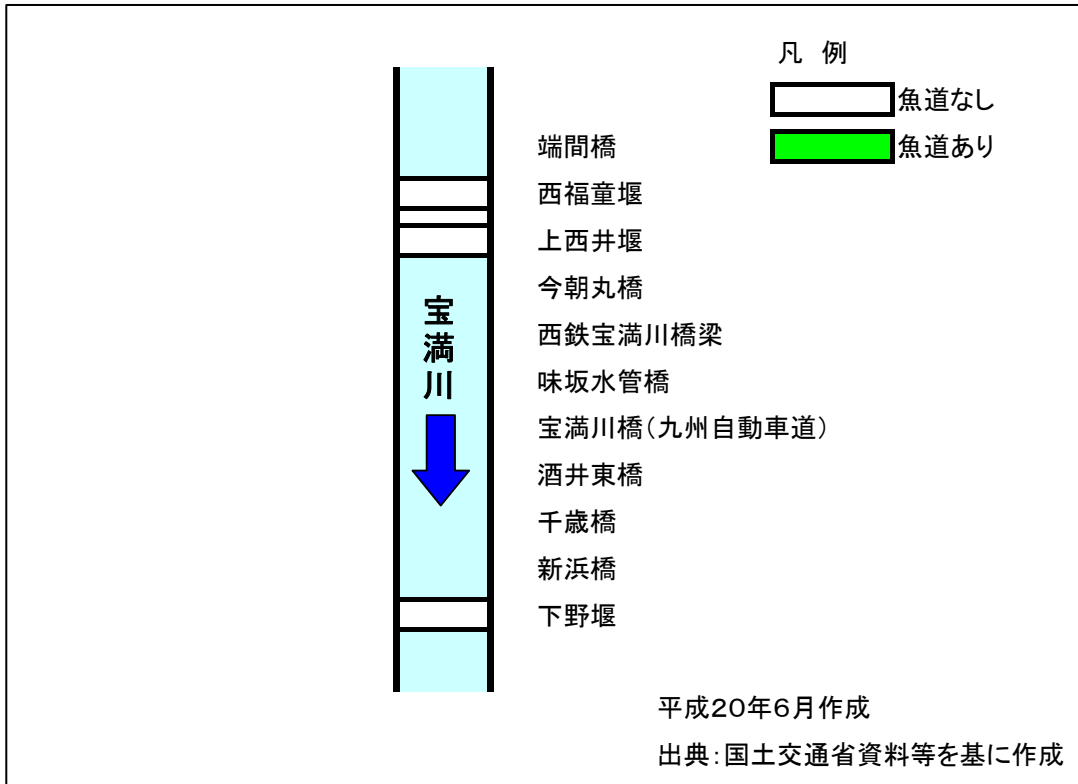
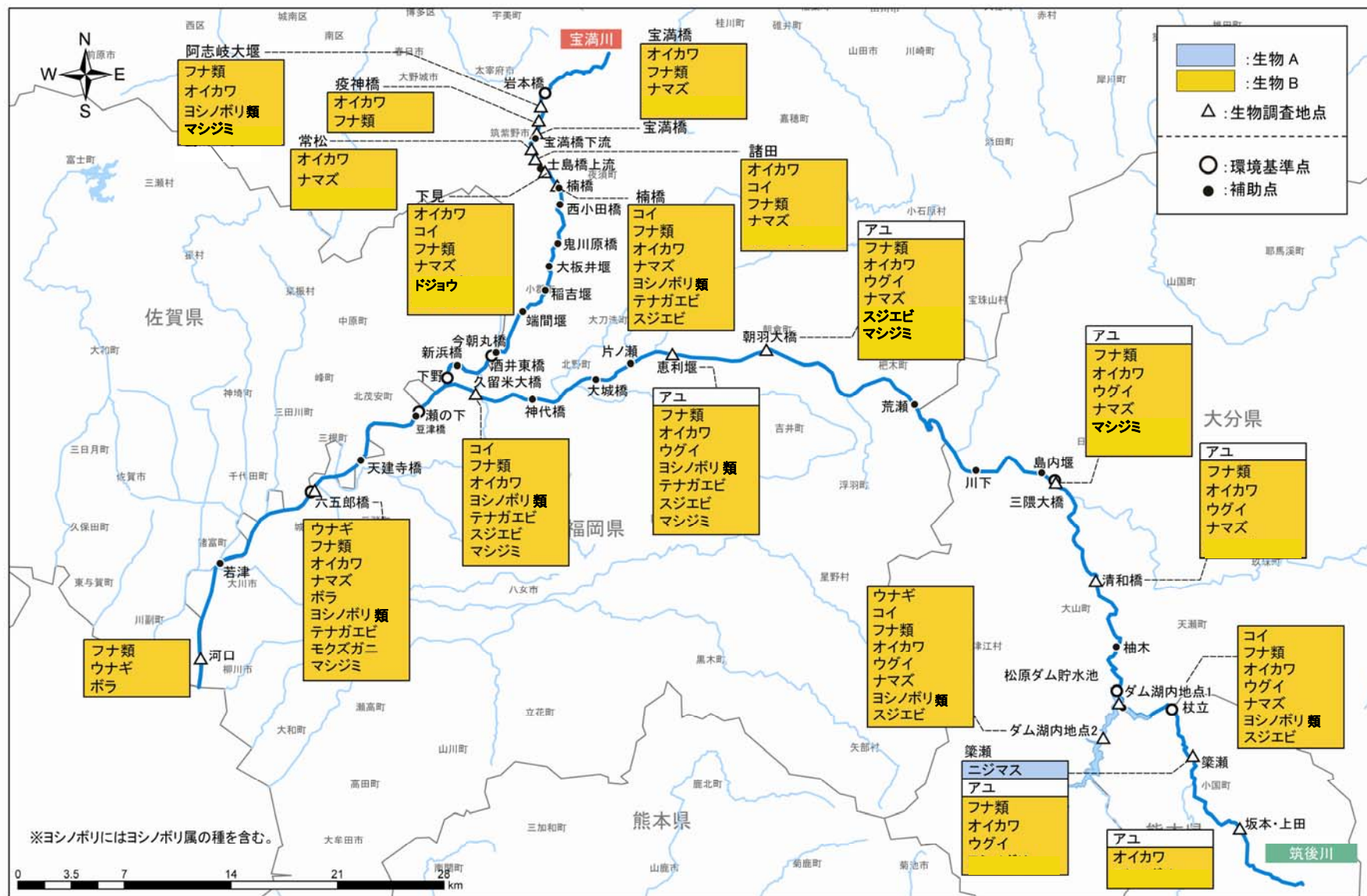


図 9.12 主な河川横断工作物（宝満川）



国土交通省 平成13年度「河川水辺の国勢調査」(筑後川)より
 国土交通省 平成15年度「河川水辺の国勢調査」(松原ダム)より
 熊本県 平成8年度「河川水辺の国勢調査」(筑後川水系)より
 筑紫野市自然環境調査委員会:筑紫野市の自然 (平成11年6月)より

図 9.13 主要魚介類の確認状況(筑後川・宝満川)

表 9.2(1) 魚介類の確認状況（既存調査結果1）（筑後川）

項目・分類・科・種名	調査地点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
		河口	六五郎橋	久留米大橋	恵利堰	朝羽大橋	三隈大橋	清和橋	(ダム湖内地点1) 松原ダム	(ダム湖内地点2) 松原ダム	築瀬	坂本・上田		
		国土地交通省 河川水辺国 勢調査	国土地交通省 河川水辺国 勢調査	国土地交通省 河川水辺国 勢調査	国土地交通省 河川水辺国 勢調査	国土地交通省 河川水辺国 勢調査	国土地交通省 河川水辺国 勢調査	国土地交通省 河川水辺国 勢調査	国土地交通省 河川水辺国 勢調査	国土地交通省 河川水辺国 勢調査	熊本県 河川 水辺国勢調 査	熊本県 河川 水辺国勢調 査		
出典・調査時期	平成15年度 (5月・8月・ 11月)	平成15年度 (5月・8月・ 11月)	平成15年度 (5月・8月・ 11月)	平成15年度 (5月・8月・ 11月)	平成15年度 (5月・8月・ 11月)	平成15年度 (5月・8月・ 11月)	平成15年度 (5月・8月・ 11月)	平成15年度 (5月・8月・ 11月)	平成15年度 (7月・9月)	平成15年度 (7月・9月)	平成8年度 (9月)	平成8年度 (9月)		
生物A	魚類	サケ科	ニジマス											
その他	魚類	キヌウリウオ科	アユ											
生物B	魚類	ウナギ科	ウナギ	○	○							○	○	
		コイ科	コイ			○				○	○			
		コイ科	フナ類(ゲンゴロウブナ)		○					○	○			
		コイ科	フナ類(ギンブナ)							○	○			
		コイ科	フナ類(Carassius属の数種)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		コイ科	オイカワ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		コイ科	ウグイ				○	○	○	○	○	○	○	
		ナマズ科	ナマズ		○			○	○	○	○	○		
		ボラ科	ボラ	○	○									
		ハゼ科	ヨシノボリ類(オオヨシノボリ)							○	○			
		ハゼ科	ヨシノボリ類(トウヨシノボリ)		○	○	○			○	○			
		テナガエビ科	テナガエビ		○	○	○							
		テナガエビ科	スジエビ		○	○	○			○	○			
		イワガニ科	モクズガニ		○									
		シジミ科	マジジミ		○	○	○	○	○					
		その他	魚類	アカエイ科	アカエイ	○								
				ニシン科	ヒラ	○	○							
				コノシロ科	コノシロ	○	○							
				カタクチイワシ科	カタクチイワシ	○								
				コイ科	ヤリタナゴ					○				
コイ科	アブラボテ						○	○	○					
コイ科	アブラボテ(Tanakia)属の一種					○								
コイ科	タイリクバラタナゴ				○	○		○						
コイ科	タイリクバラタナゴ(Rhodeus)属の数種				○	○		○						
コイ科	ハス				○	○	○			○	○			
コイ科	オイカワ(Zacco)属の一種				○									
コイ科	カワムツ										○	○		
コイ科	カワムツA型					○								
コイ科	カワムツB型							○	○	○				
コイ科	タカハヤ				○									
コイ科	モツゴ				○	○								
コイ科	カワヒガイ						○	○						
コイ科	ムギツク					○	○	○	○	○		○		
コイ科	タモロコ					○								
コイ科	せぜら					○	○	○	○	○				
コイ科	カマツカ				○	○	○	○	○			○		
コイ科	ツチフキ				○	○	○	○				○		
コイ科	ニゴイ					○								
コイ科	イトモロコ					○	○	○	○	○		○		
コイ科	スゴモロコ					○	○	○	○					
コイ科	コウライモロコ						○			○	○			
コイ科	コイ科の一種			○	○		○							
ドジョウ科	ヤマトシマドジョウ						○		○					
トウゴロイワシ科	トウゴロイワシ			○										
カダヤシ科	カダヤシ				○									
サヨリ科	クルマサヨリ			○	○	○								
ヨウジウオ科	ヨウジウオ			○										
コチ科	コチ(マゴチ)			○										
スズキ科	スズキ			○	○									
サンフィッシュ科	ブルーギル				○			○		○	○			
サンフィッシュ科	オオクチバス(ブラックバス)						○	○		○	○			
ヒイラギ科	ヒイラギ			○	○									
マツダイ科	マツダイ			○										
ニベ科	コイチ			○										
ニベ科	シログテ			○										
ボラ科	セスジボラ			○										
ボラ科	メナダ			○	○									
ハゼ科	ヨシノボリ類(カワヨシノボリ)					○	○	○	○					
ハゼ科	ヨシノボリ(Rhinogobius)属の一種					○	○							
ハゼ科	ドンコ					○	○	○	○			○		
ハゼ科	アカウオ			○										
ハゼ科	ワラスボ			○	○									

出典：国土交通省H13河川水辺の国勢調査、国土交通省H15年度河川水辺の国勢調査(松原ダム)

熊本県H8年度河川水辺の国勢調査(筑後川水系)、筑紫野市自然環境調査委員会筑紫野市の自然(H11年6月)

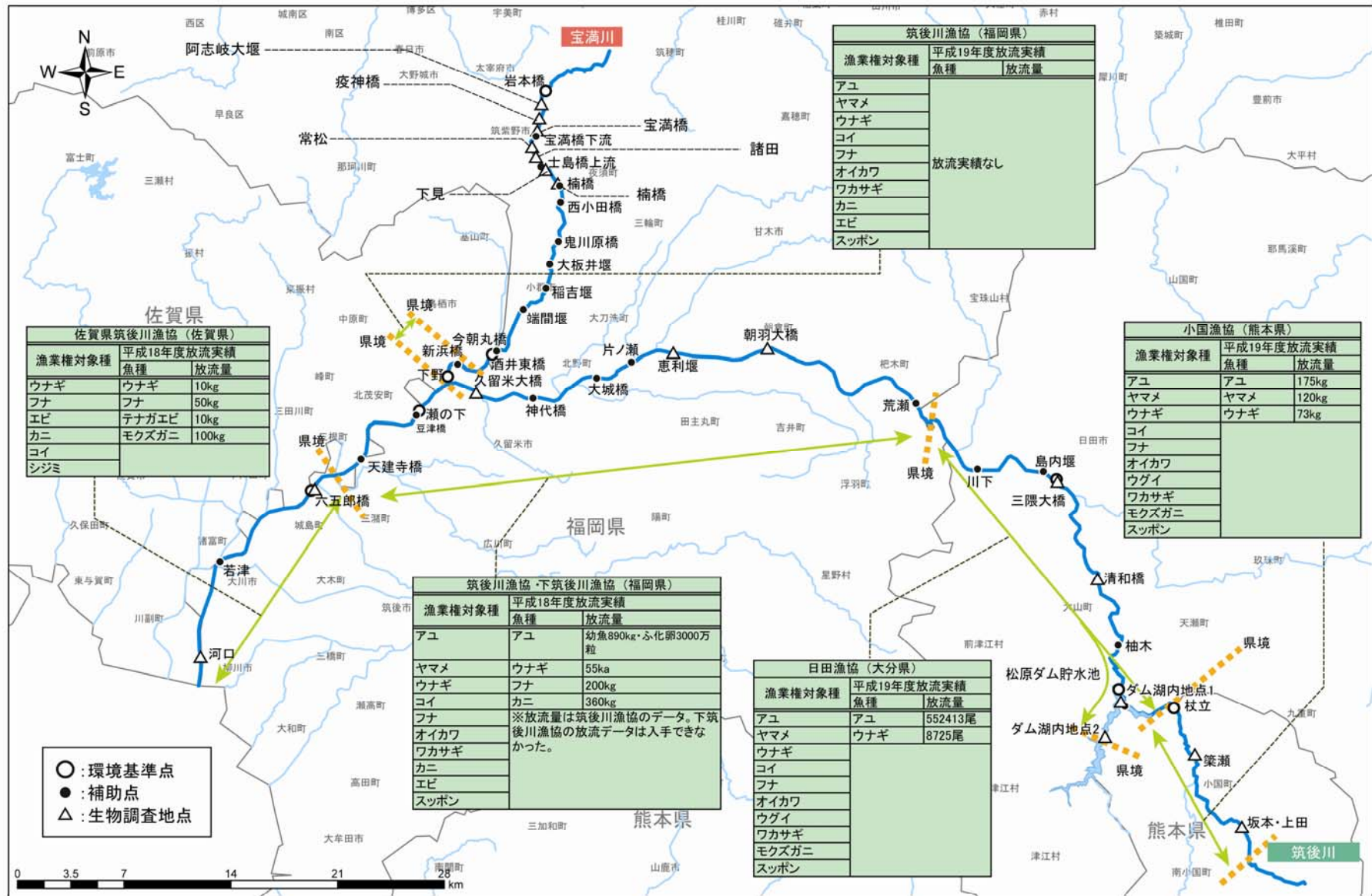
表 9.2(1) 魚介類の確認状況 (既存調査結果 2) (筑後川)

項目・分類・科・種名		調査地点		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		出典・調査時期		河口	六五郎橋	久留米大橋	恵利堰	朝羽大橋	三隈大橋	清和橋	(ダム湖内地点1) 松原ダム	(ダム湖内地点2) 松原ダム	築瀬	坂本・上田
		国土地交通省河川水辺国勢調査	国土地交通省河川水辺国勢調査	国土地交通省河川水辺国勢調査	国土地交通省河川水辺国勢調査	国土地交通省河川水辺国勢調査	国土地交通省河川水辺国勢調査	国土地交通省河川水辺国勢調査	国土地交通省河川水辺国勢調査	国土地交通省河川水辺国勢調査	国土地交通省河川水辺国勢調査	熊本県河川水辺国勢調査	熊本県河川水辺国勢調査	
		平成15年度(5月・8月・11月)	平成15年度(5月・8月・11月)	平成15年度(5月・8月・11月)	平成15年度(5月・8月・11月)	平成15年度(5月・8月・11月)	平成15年度(5月・8月・11月)	平成15年度(5月・8月・11月)	平成15年度(5月・8月・11月)	平成15年度(5月・8月・11月)	平成15年度(7月・9月)	平成15年度(7月・9月)	平成8年度(9月)	平成8年度(9月)
その他	魚類	ハゼ科	チワラスボ	○										
		ハゼ科	ウロハゼ	○	○									
		ハゼ科	マハゼ	○	○									
		ハゼ科	ハゼクチ	○	○									
		ハゼ科	アシシロハゼ		○									
		ハゼ科	ヒナハゼ								○	○		
		ハゼ科	アベハゼ		○									
		ハゼ科	スジハゼ	○										
		ハゼ科	シモリジマハゼ	○	○									
		ハゼ科	ヌマチチブ				○	○	○	○	○	○		
		ハゼ科	シウキハゼ	○	○									
		ハゼ科	ハゼ科の一種	○	○									
		アイゴ科	アイゴ	○										
	甲殻類	タイワンドジョウ科	カムルチー				○							
		クルマエビ科	ヨシエビ		○									
サクラエビ科		アキアミ		○										
テナガエビ科		ユビナガスジエビ(フトユビスジエビ)		○										
テナガエビ科		シラタエビ		○										
その他	甲殻類	テッポウエビ科	Alpheus属の一種	○										
		ヌマエビ科	ミゾレヌマエビ	○	○									
		ヌマエビ科	ミナミヌマエビ		○	○	○	○	○					
		アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ		○	○	○	○						
		イワガニ科	クロベンケイガニ		○									
		イワガニ科	ヒメクズガニ		○									
		イワガニ科	ベンケイガニ		○									
		サワガニ科	サワガニ						○	○				
	軟体動物	アマオブネガイ科	ヒロクチカノガイ	○										
		リンゴガイ科	スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)		○		○	○						
		タニシ科	オオタニシ					○						
		タニシ科	ヒメタニシ		○	○	○	○						
カワニナ科		カワニナ				○	○	○						
カワニナ科		チリメンカワニナ			○	○	○							
カワニナ科		Semisulcoospira属の数種			○	○	○	○	○					
ウミナガ科		クロヘナタリガイ	○											
タマキビガイ科		マルウスラタマキビガイ	○											
カワザンショウガイ科		Assiminea属の一種	○											
カワザンショウガイ科		アズキカワザンショウガイ	○											
ワカウツボ科(カワグチツボ科)		カワグチツボ	○											
ミスゴマツボ科		エドガワミスゴマツボ(ウミゴマツボ)	○											
タマガイ科		タマガイ科の一種	○											
ムシロガイ科(オライレヨフバイ科)		アラムシロガイ	○											
オカミガイ科		オカミガイ	○											
モノアラガイ科		ヒメモノアラガイ		○										
サカマキガイ科		サカマキガイ	○	○	○	○	○	○	○					
ヒラマキガイ科		ヒラマキガイモドキ			○				○					
フネガイ科		サルボウガイ	○											
イガイ科		コケガラスガイ	○											
イシガイ科		ドフガイ(幼イ、ヌカイ)						○			○			
イシガイ科		イシガイ			○	○	○							
シジミ科		シジミ(Corbicula)属の一種			○	○	○							
コウイカ科		シリヤケイカ	○											
ジンドウイカ科		ベイカ	○											
ジンドウイカ科		ジンドウイカ科の一種	○											

出典：国土交通省H13河川水辺の国勢調査、国土交通省H15年度河川水辺の国勢調査(松原ダム)
 熊本県H8年度河川水辺の国勢調査(筑後川水系)、筑紫野市自然環境調査委員会筑紫野市の自然(H11年6月)

表 9.2(2) 魚介類の確認状況（既存調査結果）（宝満川）

項目・分類・科・種名		調査地点		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
		出典・調査時期		(橋樑橋)	下見	諸田	常松	宝満橋	疫神橋	(阿志大堰)	吉木	上吉木	大石	袖須原・本通寺		
		筑紫野市筑紫野市の自然	福岡県河川水辺の国勢調査	筑紫野市筑紫野市の自然	筑紫野市筑紫野市の自然	筑紫野市筑紫野市の自然	筑紫野市筑紫野市の自然	筑紫野市筑紫野市の自然	筑紫野市筑紫野市の自然	筑紫野市筑紫野市の自然	福岡県河川水辺の国勢調査	筑紫野市筑紫野市の自然	筑紫野市筑紫野市の自然	筑紫野市筑紫野市の自然	筑紫野市筑紫野市の自然	
生物B	魚類	コイ科	コイ		○	○										
		コイ科	ギンブナ		○						○					
		コイ科	フナ類(フナ属の一種)	○	○	○				○						
		コイ科	オイカワ	○	○	○	○	○	○		○					
		ドジョウ科	ドジョウ		○											
		ナマズ科	ナマズ	○	○	○	○	○								
		ハゼ科	トウヨシノボリ		○							○				
		甲殻類	テナガエビ科	テナガエビ		○										
			テナガエビ科	スジエビ		○										
		貝類	シジミ科	マシジミ								○				
魚類	魚類															
その他	魚類	コイ科	バラタナゴ (Rhodeus)属の一種	○	○			○		○						
		コイ科	カワムツ	○				○	○	○		○	○	○		
		コイ科	カワムツB型		○						○					
		コイ科	モツゴ	○	○	○										
		コイ科	ムギツク		○			○	○	○	○	○				
		コイ科	カマツカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
		コイ科	ツチフキ		○											
		コイ科	イトモロコ		○				○	○	○					
		コイ科	タカハヤ								○	○	○	○		
		ドジョウ科	ヤマトシマドジョウ		○						○					
		ドジョウ科	シマドジョウ								○					
		メダカ科	メダカ	○	○	○		○	○							
		スズキ科	オヤニラミ						○	○	○	○				
		サンフィッシュ科	ブルーギル		○											
		ボラ科	メナダ													
		ハゼ科	ヨシノボリ類			○	○	○								
		ハゼ科	ドンコ		○	○	○	○		○			○	○		
		タイワンドジョウ科	カムルチー			○										
		甲殻類	スマエビ科	ミナミスマエビ		○						○				
			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ		○						○				
貝類	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)		○						○						
	タニシ科	ヒメタニシ		○						○						
	カワニナ科	カワニナ		○						○						
	イシガイ科	イシガイ		○												
	モノアラガイ科	モノアラガイ		○												
	サカマキガイ科	サカマキガイ								○						



出典: 福岡県、熊本県、大分県資料・平成18年度ヒアリング調査・平成19年度ヒアリング調査より

図 9.14 漁業権設定・魚類等放流状況(筑後川・宝満川)

表 9.3(1) 魚介類生息状況に関する学識者や漁業関係者へのヒアリング結果の整理（筑後川）

項目	ヒアリング結果（回答機関名）		
	上流	中流	下流
魚介類の生息範囲	<ul style="list-style-type: none"> 代表的及び特徴的な魚介類としてヤマメ・アユ・コイ・ウグイ・ハヤ・ウナギ等があげられる（小国町漁協）。 イワナ・ヤマメ類は宇土橋付近から上流に生息している（小国町漁協）。 コイ・フナ類は大分県境（杖立）から黒川温泉付近まで生息している（小国町漁協）。 	<ul style="list-style-type: none"> 代表的及び特徴的な魚介類としてアユがあげられる（日田漁協）。 イワナ・アマゴ類は自然に生息していない（日田漁協）。 コイ・フナ類は中流全域に生息している（日田漁協）。 	<ul style="list-style-type: none"> 代表的及び特徴的な魚介類としてアユ・オイカワ・コイ・フナ・モクズガニ・スッポン・ウグイ等があげられる（筑後川漁協、佐賀県筑後川漁協）。 イワナ・アマゴ等は本流内には生息していない（九州大学、筑後川漁協、佐賀県筑後川漁協）。 コイ・フナ類は下流全域に生息している（筑後川漁協、佐賀県筑後川漁協）。
産卵場・幼稚仔魚の生育場	<ul style="list-style-type: none"> 禁漁区⑤（小国町大字下城字湯鶴県境より上流ゆかだ淵まで）、禁漁区⑦（小国町大字下城湯鶴ゆかだ淵より宮原土田滝まで）、禁漁区⑥（小国町大字宮原佐藤精米所堰から上流上町どろ淵まで）、禁漁区①（小国町大字上田字坂本堰より上流赤とうぐうまで）が産卵場と考えられる（小国町漁協）。 	<ul style="list-style-type: none"> 把握していない（日田漁協）。 	<ul style="list-style-type: none"> 片の瀬～恵利堰の前後はアユの産卵場として重要である（筑後川漁協）。 本流内に人工産卵床を3箇所程毎年設置しているが、場所は毎年河川状況に応じて異なる（筑後川漁協）。 筑後大堰～坂口床固の間はエツやクルメサヨリの産卵場、さらに下流域はアリアケシラウオ等の産卵場として重要である（佐賀県筑後川漁協）。
魚介類等資源の保全	<ul style="list-style-type: none"> ヤマメ・アユ・ウナギ等を放流している（小国町漁協）。 	<ul style="list-style-type: none"> アユ・ウナギ・スッポン、ニジマスを放流している（日田漁協）。 	<ul style="list-style-type: none"> アユ・ウナギ・モクズガニ・フナ等を放流している（筑後川漁協、佐賀県筑後川漁協）。
河川環境	<ul style="list-style-type: none"> 流域内にダムは設置されていない（小国町漁協）。 	<ul style="list-style-type: none"> 筑後川大堰、恵利堰、夜明ダム等があり、魚道も設置されているが、その効果はあまりみられない（日田漁協）。 	<ul style="list-style-type: none"> 筑後川大堰があるため、アユ等遡川魚類の遡上阻害となっている（九州大学、筑後川漁協、佐賀県筑後川漁協）。

表 9.3(2) 魚介類生息状況に関する学識者や漁業関係者へのヒアリング結果の整理（宝満川）

項目	ヒアリング結果(回答機関名)
	全域
魚介類の生息範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・代表的及び特徴的な魚介類としてアユ・オイカワ・コイ・フナ・モクズガニ・スッポン・ウグイ等があげられる（筑後川漁協）。 ・イワナ・アマゴ等は本流内には生息していない（筑後川漁協）。 ・コイ・フナ類はほぼ全域に生息している（筑後川漁協）。 ・アユ・ウナギ・モクズガニ・フナ等は漁業権内（酒井東橋付近から下流）に放流しているので、当該区域に分布している（筑後川漁協）。
産卵場・幼稚仔魚の生育場	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし（筑後川漁協）。
魚介類等資源の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業権内（酒井東橋付近から下流）にアユ・ウナギ・モクズガニ・フナ等を放流している（筑後川漁協）。
河川環境	<ul style="list-style-type: none"> ・細かい堰がいくつか存在するが、魚道はないと思われる（筑後川漁協）。